

# 平成30年度 あわら市の 予算

問合せ  
73・8008

「誰もがとぎめくあわら市」を目指して

平成30年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ145億4000万円、前年度と比較して6億円、4.3%の増となりました。

この要因として、北陸新幹線整備関連事業や石塚橋架替事業、福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会の開催などの大型事業を予定していることが挙げられます。

## 市の貯金

― 財政調整基金

市の貯金である財政調整基金は、平成26年度から合併による優遇措置が縮小され、地方交付税が減額されることに備え、これまで積極的な積立を行ってきました。平成29年度末では、大雪に対する経費などに充てたことにより、前年比3億8700万円と減の32億4900万円となる見込みです。

## 市の借金

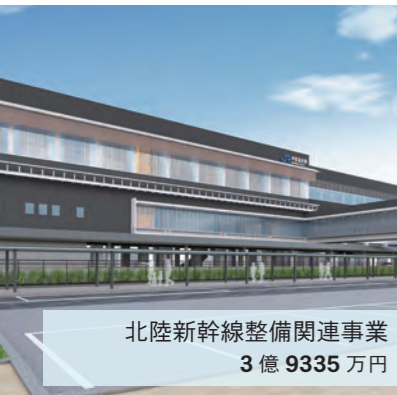
― 市債残高

市の借金である市債は、平成28年度と比較して約1億円の減少となります。平成29年度では、芦原温泉駅周辺整備事業、道路更新防災等対策事業（石塚橋）、北潟公民館改修事業などの費用に借入れを行いました。市債は、償還額の一部または全部が地方交付税に算入される借入れ（合併特例債など）を活用しています。

## 各会計の当初予算額（合計 215億6909万円）

<b>一般会計</b> 145億4000万円	市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計	
<b>特別会計</b> 34億5168万円	保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。	
<b>企業会計</b> 33億5775万円	一般の会社と同じように、独自の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計	
<b>芦原温泉上水道財産区水道事業会計</b> 2億1966万円	芦原地区の特定区域（財産区）の水道事業を運営する会計	

### 主な事業の予算額



北陸新幹線整備関連事業  
3億9335万円



まち・むらときめき支援事業  
600万円



デマンド交通（乗合タクシー）  
運行事業の見直し  
3604万円



石塚橋架け替え事業  
3億4880万円



福井しあわせ元気国体・障害者  
スポーツ大会開催費  
3億5702万円

## 家計簿でチェック

今年度の一般会計当初予算を年収約484万円（3000分の1）の家庭に置き換えて家計簿にしました。

1年間の収入合計 約484万円		1年間の支出合計 約484万円	
基本給与（市税）	158万620円	食費（人件費）	73万2012円
諸手当（分担金及び負担金）	9万9767円	医療費（扶助費）	90万2903円
副業収入（使用料及び手数料）	5万6667円	光熱水費、消耗品費など（物件費）	68万6403円
預金の取り崩し（繰入金）	26万4392円	子どもへの仕送りなど（補助費等）	97万1947円
臨時収入など（寄付金、財産収入など）	20万4612円	家や車などの修繕費（維持補修費）	1万5534円
親からの援助（交付税、国県補助金など）	226万2342円	家などの増改築（普通建設事業費）	61万7694円
銀行からの借入れ（市債）	37万8267円	借金返済（公債費）	51万6946円
貯金残高（財政調整基金）	108万3000円	貯金（積立金）	512円
借金残高（市債残高）	598万5435円	その他（予備費、災害復旧費、繰出金など）	40万2716円

収入をみると、昨年より基本給与は増えているものの、収入の半分近くは親からの仕送りに頼っており、銀行からの借入れも毎年行っています。今後は、親からの仕送りや借入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努めるとともに、支出を抑えていくこと

が必要です。支出では、食費や医療費、借金返済などの節約が難しい経費が約4割を占めています。これまで、食費や光熱水費、消耗品費などを切り詰めてやりくりしてきましたが、今後もより一層の努力が必要です。

## 一般会計当初予算規模 145億4000万円

